

きのこリウム

樋口 和智 (gracilis-works)

きのこリウムとは

“きのこリウム”はキノコをガラス容器内で育てるテラリウムであり、アート作品でもあります。キノコをレイアウト素材の一つと捉え、小さなガラス容器の中に自然を再現する、というコンセプトで作品づくりをしています。

キノコが生えている期間はとても短く、1~2週間ほど。出来上がった情景はとてもはかないものですが、キノコが創り出す造形はとても美しく、神秘的で、人を惹き付けるものがあります。

キノコの部分は子実体と呼ばれ、植物で言う花のようなものです。子実体が枯れてしまっても本体の菌糸体が死んでしまうわけではありません。菌糸体が生きている限り、キノコは複数回出てきます。実際、私の作品においても1年に2~3回のキノコが発生します。

キノコや苔を育て、景色をデザインし、小さなガラス容器の中に自然の一部を切り取ったかのような景色が出来上がった時は感動もひとしお。

育てる楽しみ、創り出す楽しみ、両方を味わいながら日々作品づくりに勤しんでいます。



どうやって キノコを生やしているのか

現在、菌床を用いた方法とホダ木を用いた方法の2つの方法でキノコを生やしています。

- ・菌床とは広葉樹のおがくずなどにキノコの菌を植え付け、ブロック状にしたもの。
- ・ホダ木とは広葉樹などの原木にキノコの菌を植え付け、全体に菌が回った状態のもの。

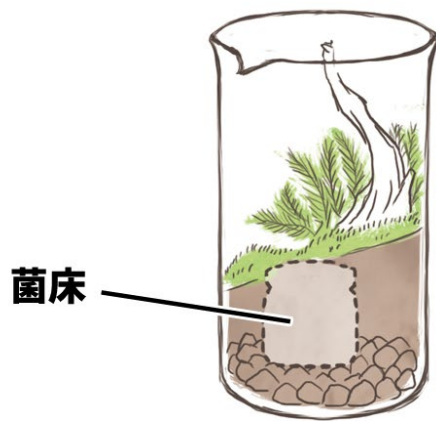


菌床を用いた方法

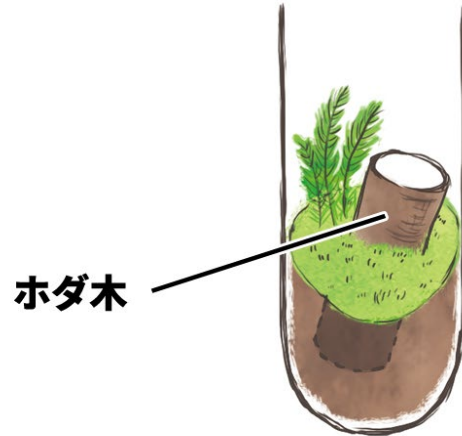


ホダ木を用いた方法

菌床やホダ木を苔テラリウムの中に埋め込むことでキノコを生やしています。



菌床



ホダ木

これまでチャレンジしてきたこと&成果

『菌床 or ホダ木をどこまで小さくできるか』

- ・小さい方が作品としてかわいい
- ・省スペースで手軽に楽しめる

菌床の場合、

80ml 程度の菌床から、立派なキノコ（写真はナメコ）が発生することが確認できた。

ホダ木の場合、

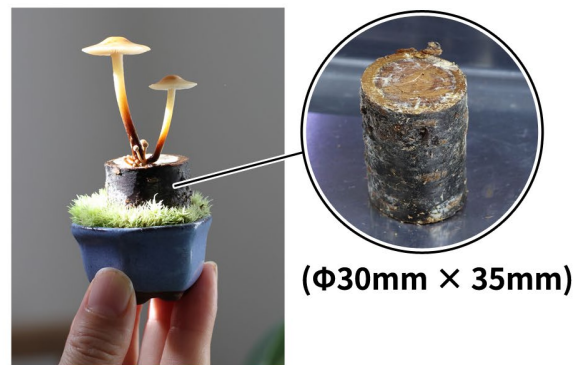
直径 30mm、長さ 35mm 程度のホダ木から、立派なキノコ（写真はエノキタケ）が発生することが確認できた。

菌床の場合



80ml程度の
菌床

ホダ木の場合



(Φ30mm × 35mm)

今後の展望

木材腐朽菌ではなく菌根菌を使ったきのこテラリウムを作成したい。

菌根菌はカラフルなキノコが多く、もし実現できればとても見栄えの良い作品ができあがるはず…！！